

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第23週 (ARIのみ第22週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	女	肺結核	痰、発熱
			80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	90歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			100歳代	女	肺結核	なし
5類	梅毒	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			50歳代	男	無症状病原体保有者	なし

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は320人(定点当たり21.0)で、前週比87%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

また、第22週の急性呼吸器感染症の報告総数は926人(定点当たり33.1)で、前週比85%と減少した。

【RSウイルス感染症】

報告数は14人(0.93)で、前週比88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.21)の約4.5倍であった。年齢群別は2歳以下が約9割であった。

【感染性胃腸炎】

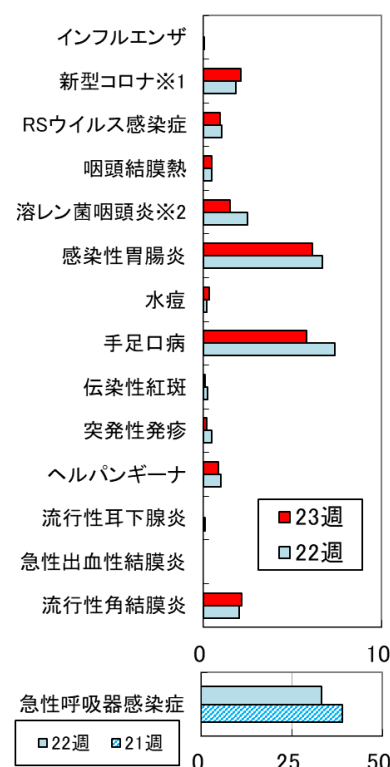
報告数は92人(6.1)で、前週比92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.8)の約0.7倍であった。年齢群別は2歳から3歳が全体の約3割を占めた。

【手足口病】

報告数は87人(5.8)で、前週比78%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.7)の約1.0倍であった。年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

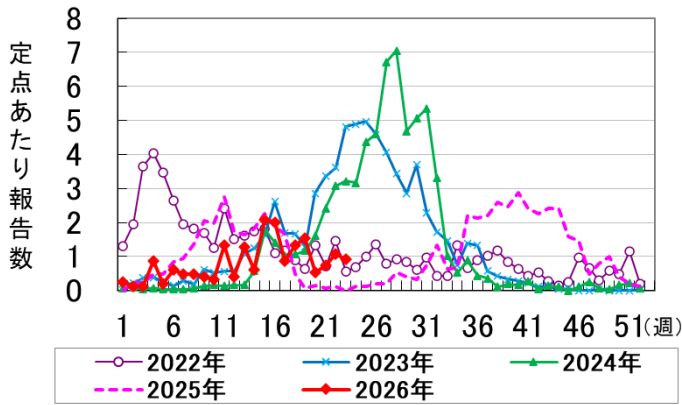
《前週との比較》



定点あたり報告数

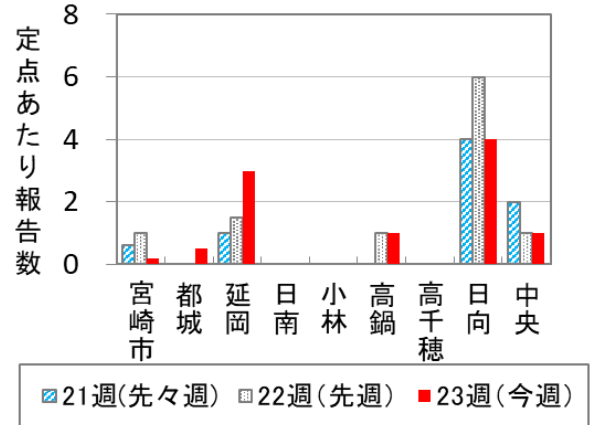
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

RSウイルス感染症 発生状況

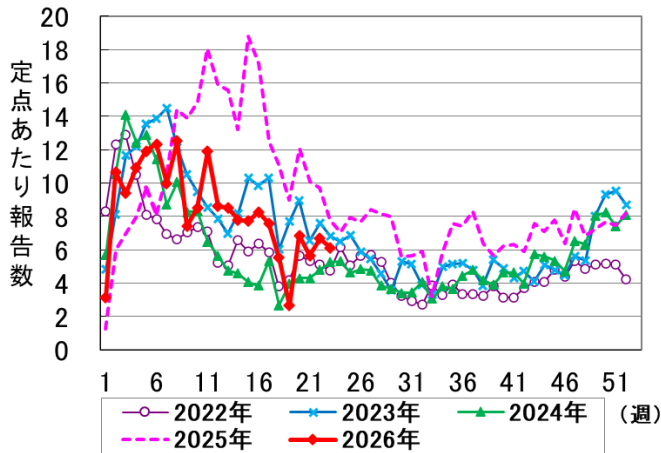


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

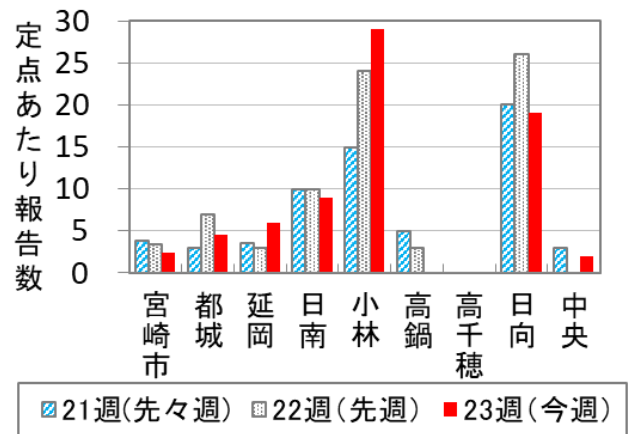


感染性胃腸炎 発生状況

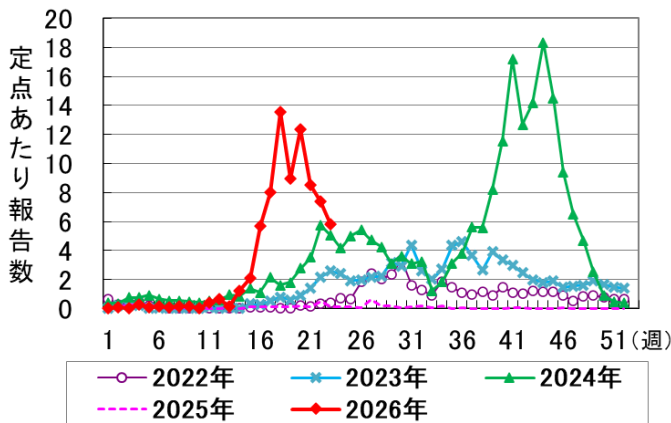


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

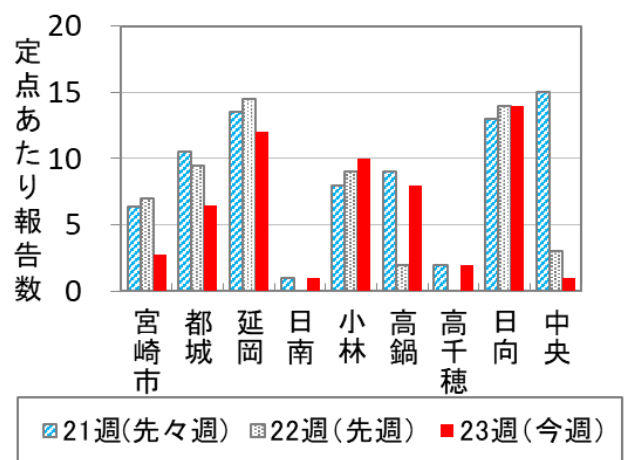


手足口病 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は2例(定点当たり0.29)で、いずれも延岡保健所から報告があった。年齢は0～4歳が1例、5～9歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(6.5)
延岡	手足口病(12.0)、流行性角結膜炎(11.0)
日南	水痘(1.0)
小林	感染性胃腸炎(29.0)、手足口病(10.0)
高鍋	手足口病(8.0)
高千穂	なし
日向	水痘(1.0)、手足口病(14.0)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・手足口病(5)
- ・流行性角結膜炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(第22週:5月25日～5月31日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		1	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		2	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
ライノウイルス・アデノウイルス		1	
検出せず※2		5	
受付検体数		9	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては2026年6月8日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日日
EPEC(OUT:HUT)	50歳代	女	2026.05.01	なし	便	2026.05.15

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parvovirus B19	5～9歳	男	2026.04.23	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.06.05
Parvovirus B19	5～9歳	女	2026.05.19	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.06.08

✚ 全国 2026 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	273 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	42 例	腸チフス	2 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	18 例	A型肝炎	5 例	エキノкокクス症	1 例
	エムポックス	2 例	回帰熱	1 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	つつが虫病	4 例	日本紅斑熱	19 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	34 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	12 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	50 例	水痘(入院例)	21 例	多剤耐性緑膿菌感染症	5 例
	梅毒	165 例	播種性クリプトкокクス症	1 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	93 例	麻しん	11 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,296 人(2.8)で前週比 91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)の約 0.9 倍であった。佐賀県(5.7)、鳥取県(5.4)、山形県(5.2)からの報告が多く、年齢群別では3歳から7歳が全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 11,610 人(5.1)で前週比 98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.7)の約 0.8 倍であった。石川県(8.7)、奈良県(8.5)、愛媛県(8.0)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

手足口病の報告数は 3,186 人(1.4)で前週比 144%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約 1.1 倍であった。鹿児島県(11.3)、宮崎県(7.4)、大分県(6.3)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第23週(06月01日～06月07日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点当り	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	51	59	28	3	6	5	2	2		5	8
	定点当り	1.82	2.11	3.11	0.75	2.00	2.50	1.00	1.00	0.00	2.50	4.00
RSウイルス感染症	報告数	16	14	1	1	6			1		4	1
	定点当り	1.07	0.93	0.20	0.50	3.00	0.00	0.00	1.00	0.00	4.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	7	7	4					1			2
	定点当り	0.47	0.47	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	37	23	15	1	1			1			5
	定点当り	2.47	1.53	3.00	0.50	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	100	92	12	9	12	9	29			19	2
	定点当り	6.67	6.13	2.40	4.50	6.00	9.00	29.00	0.00	0.00	19.00	2.00
水痘	報告数	3	5	1	1	1	1				1	
	定点当り	0.20	0.33	0.20	0.50	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	111	87	14	13	24	1	10	8	2	14	1
	定点当り	7.40	5.80	2.80	6.50	12.00	1.00	10.00	8.00	2.00	14.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	4	2	2								
	定点当り	0.27	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	7	3	1				1			1	
	定点当り	0.47	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	15	13	5		7		1				
	定点当り	1.00	0.87	1.00	0.00	3.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	13		2	11						
	定点当り	2.00	2.17	0.00	1.00	11.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		2			2						
	定点当り	0.00	0.29	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第22週(05月25日～05月31日)

		第21週	第22週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1093	926	269	110	119	65	98	62	30	91	82
	定点当り	39.04	33.07	29.89	27.50	39.67	32.50	49.00	31.00	15.00	45.50	41.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～23週 保健所受理分)

2類感染症	結核	65例(5)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18例										
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病	4例						
	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	3例								
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例						
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	4例						
	梅毒	27例(2)	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例						
	百日咳	37例	麻疹	1例								

()内は今週届出分、再掲